

高橋 久光 議員（代表質問）

1 滑川市の児童・生徒の学力について

- (1) 理数教育に力を入れるとされているが先の新聞発表のとおり、日本に対する、世界からの評価もさることながら滑川市の子どもたちの評価はどうか。
- (2) 近年の国際化及び北陸新幹線の開通に伴い人的往来が多くなっている。(外国人の観光客も多い) よって小中学校からの外国語対応を図っているか。

2 道の駅構想を新たに考えるべきでないか

- ・ 新8号バイパス周辺で(滑川地内) どうか。

3 宿場回廊の再整備をすべきでないか

- ・ 橋場(中川の出口)の整備や周辺一体の開発をどのように考えているか伺う。

4 コミュニティバスについて

- (1) 現状は各路線の定位置がなく統一したターミナル基地の設置が必要と思うが伺う。
- (2) 各路線運行に当たっては市民サービスの一環としての心がけで運行すべきと思うが伺う。

5 人事管理について

- (1) 専門職の職員数は適正か。

(2) 市民等しく偏りのない行政サービスができるような職員教育、幹部教育がされているか。

(3) 市民の活力の仕掛人の一役として地域おこし協力隊を検討したらどうか。

高木 悦子 議員（代表質問）

1 滑川市におけるジオパークの活用について

- (1) 「子どもサミット」事前研修において児童・生徒の皆さんに市内のジオポイント（ジオサイト）を視察してもらい、子どもたちの視点で様々な提案がされたことを受け、滑川市として立山黒部ジオパーク構想に対して、今後どのような姿勢で取り組んでいくか。
- (2) 「ジオパーク構想」は「保護・教育・観光」の三点セットで成立するとされている。その基本は滑川市内のジオポイント（ジオサイト）の維持管理・周知・PRにあると考えるが、五厘堤や蓑輪・護摩堂の地層、ダイビングスポットなどは立山黒部ジオパークでも紹介されていない。滑川市立博物館と連携した市内のジオポイントの把握、市の広報などでの市民への周知、教育委員会においては学校教育での活用、滑川市観光協会やWAVE滑川では、立山黒部ジオパークの一員としての滑川のPRを進めるなど、それぞれで取り組むべきことがある。教育委員会、企画政策課、商工水産課などそれぞれの部署でジオパークに対する取り組みを強化する思いはあるか。
- (3) 例えば、ほたるいかミュージアムの入館者が増えているということだが、市内のジオポイントへの誘導を促す展示を検討するなど、観光客が市内を周遊するような工夫もできる。滑川市にジオパークを活用する意思があるかどうかで行動が変わると思う。誰かがリーダーシップをとって、それぞれの担当課の取り組みを後押しすべきと思うが、態勢を整備するつもりはあるか。

2 中心市街地活性化と市有遊休地の活用計画について

- (1) 中心市街地における都市機能の増進や経済活力の向上は国の政策としても推進されているところで、平成16年度からの3カ年、滑川市においても市民交流プラザの建設などを基幹事業としてまちづくり交付金を活用している。平成23年6月議会を最後に、市長の議会発言から「中心市街地」という言葉は一切聞かれないのだが、滑川市の中心市街地活性化に対する基本的な考え方を問う。

- (2) 都市計画マスタープランにおいて、中滑川駅前の農協会館跡地は商業地域、滑川駅前団地跡地は第2種中高層住居専用地域として用途地域が指定されていて、滑川市として一定の方向性を示している。しかし滑川市の中心市街地の現状は、大型スーパーの相次ぐ郊外出店によって、都市計画マスタープランの「商業地域」は将来が見えていない。2つの駅前周辺の市有地をどのように活用していくかは、スポットで考えるものではなく、今後の滑川市の中心市街地全体をどうしていくかを左右する計画の上に整備を進めるべきと考える。国からの有利な交付金が受けられる中心市街地活性化基本計画や都市再生整備計画など、長期的なまちづくりを展望した計画を考えるつもりはないか。
- (3) 国の有利な交付金を受けて事業をするにしても、滑川市の財源が必要となる。現在滑川市が保有する積立金で、交付金事業の財源と出来るものは8億円余りの文化会館建設基金が考えられる。過去の議論で文化会館建設には国の補助は無いとのことであったが、愛知県豊橋市では中心市街地活性化基本計画を策定して「穂の国とよはし芸術劇場」に対して国土交通省の「都市機能まちなか立地支援」で3分の1（最高5分の2）の国費率で建設をしている。商業施設や介護施設等を1階に配して市民の皆さんの生活を支える拠点として、2階以上を文化ホールとしてにぎわい再生の施設として複合型の施設を農協会館跡地に置くことを基幹事業として、中心市街地活性化基本計画を策定することを検討しないか。
- (4) 駅前団地跡地は滑川駅から半径1キロ以内にあり、県内で6つの市と町が、姉妹都市の小諸市も市庁舎や病院の建設で利用されている「立地適正化計画」による都市機能立地支援事業と都市再生構築戦略事業の対象エリアとなっている。民間事業者による事業も補助対象としており、官民連携の複合的な整備も考えることができる。中滑川駅前の開発と合わせ、地域全体のまちづくりの検討を早急に始めるべきと考えるが、どうか。

3 言葉だけの「経営感覚」「コスト意識」になっていないか

- (1) 毎年12月議会の提案理由説明において「新年度予算編成」の項目で、市長から「少子高齢化の一層の進行に伴う扶助費を中心とした義務的経費の増加や、公共施設の維持修繕・更新等が見込まれており、加えて健全な財政に関する条例に基づく持続可能な財政基盤の確立に向けて、今まで以上に経営感覚やコスト意識を持って臨んでいくことが肝要になっているところでもあります。」という文言が発せられている。年々、高齢化

に伴う扶助費の増加、各特別会計への一般会計からの繰出金は増加していき、人口減少時代に突入して、未来を担う世代では、将来負担比率などの財政指標を鵜呑みにできない不安を抱えている。企業経営者は借金の保証人になること、破綻をすれば従業員の生活も壊すかもしれないといった経営に対する覚悟をして、それこそ命懸けで経営をするから生まれてくるのが「経営感覚」であり、費用対効果を念頭にした「コスト意識」である。滑川市の言う「経営感覚」「コスト意識」とは、どのようなものか。

- (2) 第2子保育料完全無料化を行って8年目の山梨県北杜市を視察し、その成果を確認してきた。出生数の減少に歯止めもかかっていなければ、子育て世代の転入にも結びついていないという残念な結果であった。保育料の無料化よりも住宅政策によって転出を抑制できているという話であった。8年後の滑川市を見てきた思いだ。8年間で10億円以上のコストを掛けて、効果が得られなければ経営者として間違いなく失格だが、その時にこの議場の中の人間のどれだけが責任を問われるのか。富山湾岸クルージングも悪天候を想定するのが経営者の姿だ。「広告不足で赤字なので990万円補てんします」という経営ミスへの責任は誰が取るのか。観光事業の中でクルージングを優先するのであれば、タラソピアの赤字を無くしてクルージング事業に集中するというのが経営者としての正しい判断ではないか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 市民の健康のため、疾病の予防、早期発見対策について

- (1) 疾病別医療費の状況は。
- (2) 各種健診の受診率向上対策について
 - ア 特定健診
 - イ 各種がん検診
 - ウ 歯周疾患検診
- (3) 減塩対策の現状と今後の取り組み

2 空き家対策について

- (1) 11件の取り壊しが行われたとのことだが、調査の結果はどうだったのか。（危険な空き家とされた件数、変化等は）
- (2) 取り壊しされた案件以外の対応の見通しは。
 - ・ 所有者等との話し合い等はどうか。（連絡はとれているか）

3 滑川産米の安定的な生産のための対策について

- (1) 政府の「規制改革会議」による農協「改革」なるものは、単協にも滑川市の農業者にも大きな影響を与える。どう見ているか。
- (2) 生産数量目標が示されるのは来年度が最後とされている。そのあとは「生産者が自主的に」とされているが、米価下落に拍車がかかるのではという不安が大きい。「米の直接支払交付金」もなくなる。この不安にどう応えるか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 臨時雇用者の処遇改善と職員のホスピタリティ向上について

- (1) 滑川市文化・スポーツ振興財団の雇い止め訴訟の判決後、市役所、委託者、指定管理等の臨時職員について具体的に改善したものはあるか。
- (2) 判決後に臨時雇用者雇用契約書の改善は、行われているか。
- (3) 臨時雇用者の有給休暇はあるか。また消化率はどうか。
- (4) 臨時雇用者の採用時は、筆記テストはしているか。
- (5) 正職員、嘱託職員、臨時雇用者の休憩時間はどうか。
- (6) 市役所の朝礼状況は。また挨拶運動を行っているか。
- (7) 滑川市役所フィロソフィの策定を。

2 安全な交通について

- (1) 滑川市の高齢者事故の件数はどうか。
- (2) 後期高齢者の運転免許数と近年の自主返納状況は。
- (3) 平成26年12月定例会ではゾーン30として路側帯をカラー舗装にするモラルゾーンにどうかという質問をした。今年の6月には上島公民館前定周期式信号設置を含め504名分の署名を渡したところである。その後の進捗はどうか。

3 消防署について

- (1) 今年度の滑川・魚津・上市の非番招集件数は。
- (2) 滑川消防署の人員は不足していないか。

開田 晃江 議員（一般質問）

・ まちづくりについて

（１） 産業経済の活性化について

ア 市が企業用地の利用に適していると考えられる土地はどのような所で、市がどの程度確保しているか。

イ 積極的に企業誘致に取り組む必要があると考える。どのような理由で滑川へ進出してもらえたのか。

ウ 企業誘致に積極的に取り組んでもらうための補助金制度も確立されたい。

（２） 空き家対策について

ア 中心市街地の建て替え促進についてどのように考えているか。

イ 移住を検討される方に必要な情報を的確で迅速に提供するための総合窓口は設置できないか。（教育・福祉・補助体制・住宅情報・お店等）

（３） 公共施設や学校のトイレについて

- ・ トイレの洋式化に取り組む時期ではないか。公共施設はお客様をおもてなしするための施設で、最も気配りの要するところはトイレと考えるが予定はどうか。

（４） 通学路の安全対策について

ア 通学路の安全確保はその地域の共通の課題である。通学路安全対策協議会を設置してはどうか。

イ 各校区から通学路の安全対策の要望はどの程度出ているか。

ウ 有金から上島までの通学路の歩道設置の優先順位はどのくらいか。

（５） 滑川市の婚活事業について

ア この事業の責任部署はどこか。

イ 効果は、今後の進め方は。

ウ ネーミングについて一考されたい。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 観光遊覧船「キラリン」の今後の方向性について

- (1) 今回の補正予算 9,900 千円の委託料の内訳は何か。また、なぜ今、このタイミングでの補正なのか。
- (2) 今回の補正は、ほたるいか海上観光への補てんなのか、それとも湾岸クルージング運航に関する補てんなのか。
- (3) 市と観光協会との委託契約及び観光協会と遊覧船運航業者との委託契約に関して、それぞれの契約内容はどうなっていて、何に基づく補てんなのか。
- (4) 来年3月から始まる予定のほたるいか海上観光の実施概要はどのようなになるのか。
- (5) 来年度以降の湾岸クルージングの事業展開とPR不足解消に向けた具体的な取り組み等の内容と今後の方向性について市の見解はどうか。

2 公共交通機関の今後のあり方について

- (1) 滑川市内の過去5年間に渡る高齢者運転免許自主返納支援事業の状況はどうか。
- (2) 現在70歳以上の方を対象とした自主返納支援事業を富山市や高岡市等と同様に65歳以上に拡充できないか。
- (3) 高齢者の方々の自主返納を促す意味でも公共交通機関の充実は必要不可欠である。第4次総合計画後期基本計画の「公共交通機関の整備」に掲げられている3つの交通機関に対する目標数値への到達に向けて、今後の具体的な施策展開について現時点での市の見解はどうか。
- (4) 例えば、コミュニティバスの運行について、利便性を高めるために拠点(ハブ)を設置し、放射状の運行形態等にルート変更することを検討してはどうか。

3 乳幼児・児童の発達支援について

- (1) 乳幼児健診での要観察者と小中学校での特別支援学級及び通級指導教室に通う児童・生徒の現状はどうか。
- (2) 市内の乳幼児・児童の発達支援に関する相談体制はどうか。
- (3) 発達支援が必要と思われる子どもたちが年々増加傾向にある中で、保育士等に対する資質向上のための研修等の受講状況はどうか。
- (4) 乳幼児・児童の発達支援に関して総合的に連絡調整できる拠点の整備とともに子どもの成長に合わせた支援ができる体制を整えていくべきだと思うがどうか。
- (5) さらに「保育のソーシャルワーカー」の育成及び人材確保が急務の課題だと思われるが市の見解はどうか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 交通安全対策の推進について

- (1) 高齢者ドライバーによる自動車の暴走事故が多発している。どれだけ交通安全の意識を高めても防ぎきれない事故の現状を踏まえ、免許証の自主返納以外の事業を展開する考えはないのか。
- (2) 最近の自動車技術の発達で、自動ブレーキ付の自動車が高く評価をされ、市場に出されている。事故を未然に減らすと言われているが、このことについて当局はどのように考えるか。
- (3) 高齢者に限らず、孫の送迎などにも、自動車を使用する。「孫との外出支援事業」はどのような内容なのか。この事業と絡めて安全性の高い車をPRしたらどうか。

2 子育て支援施策について

- ・ 多世代同居の推進、近居住まいの奨励事業について、具体的な妙案は出たのか。

3 子どもたちの学力向上について

- ・ 当初、科学・理数教育の推進のため、特例校を指定していたが、法改正され、市内全小・中学校で実施されることになった。これらの取り組みについて、万全な体制で対応できるのか。

4 観光振興について

- (1) 本定例会において、観光遊覧船「キラリン」に係る運航実績に伴う精査として、990万円の予算が計上されている。何を精査して、この額なのか。
- (2) 本年は運航初年度であったため、安全第一で慎重に運航していたと考えるが、本年度の実績を踏まえ、次年度から行うべき対応と乗船客を増やす取り組みについての見解は。

5 農業振興について

- ・ 担い手育成対策事業費や水田利活用推進事業費が予算計上されているが、これらは県の補助金である。今後市単独での農業振興策は考えているのか。

6 本市の治水対策について

- ・ 本年度中に沖田川放水路が完成する。排水計画も含め、今後の治水対策について新たな計画はあるのか。

原 明 議員（一般質問）

1 海洋深層水の利活用について

- (1) 海洋深層水2016滑川大会の成果と、健康分野、農林水産業への利活用をどう進めるのか。
- (2) 深層水トマトの取り組み状況と深層水使用の農産物のブランド化について

2 農業の振興について

- (1) 国による生産調整が2018年より廃止されるが、その対応について
- (2) 新規就農者支援事業の取り組みについて（使用されていない土地、機械や技術指導の提供など）

3 観光事業について

- (1) 富山湾岸クルージングの運航状況について
- (2) 開業2年目の運航に向けて
 - ア 新しいクルージングの企画はあるか。
 - イ 他市町村の観光協会との連携による運航を推進すべきでは。
 - ウ 富山湾内の港への運航を推進すべきではないか。

4 交通事故防止対策について

- (1) 高齢者による交通事故の状況について
- (2) 高齢者運転免許自主返納支援事業の状況について
- (3) 返納者への支援制度の拡充について

5 のるmycarについて

- ・ 利用客の減少に対する対策をどのように進めていくのか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) 有害鳥獣（クマ、サル、イノシシ等）の生息状況、並びに出没情報・エリアとその状況について
- (2) 有害鳥獣による、農作物等の被害状況について
- (3) 有害鳥獣の捕獲用具並びに捕獲の状況並びに捕獲後の処理の状況について
- (4) 狩猟免許の有資格者の現状並びに資格取得補助の現状について
- (5) 捕獲用具（くくりわな、はこわな等）の整備拡充並びに捕獲後の処理施設整備について
- (6) 狩猟免許の資格取得（職員含む）の推進と有資格者の増員と担い手育成について
- (7) 捕獲体制の整備と条例等法整備も含めた鳥獣被害対策実施隊の設置について
- (8) 電気柵の設置状況並びに今後の設置予定について
- (9) 中山間地域の重点要望である抜本的な対策として、また農業の持続性の観点から鳥獣被害防止計画の見直しについて

2 みのお温泉・テニス村の利活用計画について

- (1) みのおテニス村グリーンハウスの修繕・施設整備並びに運用について
- (2) みのお温泉・テニス村全体（ファミリーハウス、グリーンハウス、テニスコート等）の利活用計画の策定並びに早月川左岸道路の整備進捗について

3 東福寺野自然公園の利活用計画について

- (1) 東福寺野自然公園研修センター（青雲閣）の耐震補強、あるいは建て替えについて
- (2) 東福寺野自然公園施設全体（青雲閣、S Lハウス、バーベキュー広場、パークゴルフ場、遊具広場等）の利活用計画の策定について

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 シャンバーグ市との姉妹都市交流について

- (1) 来年度夏休み期間に実施予定のシャンバーグ市との姉妹都市交流は、総勢40名ぐらいの予定、そのうち子どもたちは何名を予定しているのか、また中学3年生を対象にしているのか。
- (2) 参加希望者をいつ頃から募集する予定か。
- (3) 渡航日数は何日間か。また費用負担はどれくらいを予定しているか。
- (4) 現地の学校は学年変更時期で、学校が休みであり、現地の子どもたちとの交流はどのように考えているか。
- (5) ホームステイは子どもたちにとって非常に良い体験になるので是非計画に折り込んでもらいたい。

2 空き家の実態調査と空き家の有効活用について

- (1) 滑川市空家等対策の推進に関する条例が平成28年4月1日施行され、危険な空き家等の調査は、昨年及び今年実施されたが、今後、空き家の有効活用に向けたアンケート調査を実施する予定はあるか。
- (2) アンケート調査の結果、賃貸または売却希望の空き家の中で、利用可能で優良な空き家に対し、ニーズに応じた耐震改修を含むリフォーム支援を行ない、移住・定住を促進しては。
- (3) 山梨県北杜市では、第2子以降の保育料の無料化に合わせ、子育て世代の住みやすさに特化した子育て支援住宅を市内3カ所に整備。本市においても、子育て支援住宅として、空き家を有効活用すべきではないか。

3 公共交通のあり方について

- (1) 高齢者の運転免許自主返納の状況は、平成20年度は20人、毎年少しずつ

つ増加して平成27年度は43人(80～84歳が18人と42%)、本年度は11月末現在で30人、高齢者運転免許自主返納支援事業をどのように推進しているのか。

- (2) コミュニティバス(のるmycar)の乗車状況について、市街地循環ルートと寺町ルートは少し増えているが、それ以外のルートは減少傾向になっている。減少している要因をどのように考えているか。
- (3) 滑川市は54.6km²とコンパクトなまちであり、デマンド型交通(乗り合いタクシー)の方が利便性があるのではないか。中山間地など地域を限定してそのニーズを調査し、デマンド型交通の導入を検討してはどうか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護について

- (1) 地域包括ケアに向けての準備状況はどうか、すでに移行している自治体の状況なども確認しているか。
- (2) 現在の介護職員数に不足はないか、また職員確保のための取り組みはどのようなことを行っているか。

2 交通安全について

- (1) 今年は例年に比べて高齢者が加害者となる交通事故が目立つ。滑川市での状況はどうか。
- (2) 高齢者運転免許自主返納支援事業の利用状況はどうか、またフリー乗車券の3年という期限は短くないか。
- (3) マイカーに代わる交通手段としての公共交通手段の強化のため、デマンドタクシーの検討を。

3 有害鳥獣対策について

- (1) 今年のクマの出没状況はどうか。
- (2) 捕獲隊や檻、電気柵等への支援以外で行っている取り組みはどのようなことがあるか。

4 市民に向けての取り組みについて

- (1) 高齢化が進んでいる今、自治会・町内会等への役割負担は以前より重くなっているのではないか。
- (2) 市民への情報伝達手段は現状で足りているか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 教育環境について

- ・ 市内の小中学校のトイレについて
 - ア 現在の洋式化率について
 - イ トイレ整備に対する教育委員会の方針について
 - ウ 今後の洋式化への取り組みについて

2 教育について

- ・ 市内の中学1年生全員を対象に「認知症サポーター」として育成してはどうか。

3 安全・安心について

- ・ 市内にある街路樹や公園樹木の樹齢管理について

4 子育てについて

- ・ 祖父母向け孫育てガイドブックの「滑川版祖父母手帳」を作ってはどうか。

5 防犯について

- ・ 独居老人宅に録音装置付き電話機の設置を推進してはどうか。

中川 勲 議員（一般質問）

1 平成29年度予算編成に向けて

- (1) 新年度の目玉事業はあるのか。
- (2) 公共施設の維持修繕・設備の更新を見込んでおられるがどのような内容か、また、それは滑川市公共施設等総合管理計画に準じて実施されるのか。
- (3) 3年目を迎える滑川市ひと・まち・産業（しごと）創生総合戦略をどう取り組むのか。
- (4) 下水道整備は、どの程度の計画があるのか。

2 福祉の充実について

- (1) 全国で子どもの貧困が問題になっているが、滑川市は大丈夫か。
- (2) 高齢者の交通事故が多発しているが、防止策は考えているのか。
- (3) 高齢者の一人暮らしの調査結果が新聞に記載されていたが、支え合いを充実させる方策はできたのか。

3 観光施策の推進について

- (1) 市内において、観光資源の掘り起こしをしているのか。
- (2) 企業観光を積極的に推進すべきではないのか。
- (3) 新幹線富山駅から、滑川駅まであいの風とやま鉄道で10分～15分で来れることをPRし、ほたるいかミュージアム、富山湾岸クルージング観光をPRすべきと思うが。
- (4) スポーツ・健康の森公園を起点として、全国大会を誘致すべきと思うが。

- (5) サンコーポラス吾妻の空き部屋を活用して、観光客やスポーツ大会参加者等が泊まれる民泊に取り組めないか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 滑川市の安全・安心について

- (1) 平穏時でも防災行政無線が聞き取りにくいというのに、災害時は悪天候であり波の音、風の音、雨の音などで消される。避難連絡は大丈夫か。
- (2) 災害時の避難場所として、公共の建物以外に、市内の企業に対し、避難場所として利用できるよう防災協定を結んでいただきたい。
- (3) 防災アドバイザー資格者の勉強会や情報交換会は行われたのか。

2 教育行政について

- (1) 滑川市内の学校でいじめと把握された件数はどの程度あるか。その対策は。
- (2) 不登校児童、生徒は何人いるのか。
- (3) 障がい児童、生徒の対応が学校によって温度差があると聞くが滑川市は大丈夫か。
- (4) スマホ、携帯についての指導はどのようにしているのか。
- (5) 給食費の未納はあるのか、あるならばどの程度か、その対処はどうしているか。
- (6) 食物アレルギー対策は大丈夫か。

3 企業誘致について

- ・ 早月加積地区の企業跡地に、新しく企業誘致が決まった。企業誘致は市にとって大切な事業の一つではあるが、最近のゲリラ豪雨などの異常気象で雨水の排水問題が懸念される。調整池の設置など万全の対策をとるよう、市からも要望していただきたい。

